

帯広病院 21-4111  
 白樺医院 38-3500  
 ケアセンター白樺 41-1165  
 白樺在宅総合センター 41-1167

十勝勤医協  
 友の会ニュース

医療法人 十勝勤労者医療協会  
 帯広市西9条南11丁目1番地  
 0155-21-4718  
 発行責任者 今野 光昭  
 URL:http://www.tokachi-kin-ikyo.or.jp  
 E-mail:soshiki@tokachi-kin-ikyo.or.jp

STOP 介護崩壊!!  
 介護事業所から署名が続々。  
 事業所の廃止や統合・移管の事例ぞくぞく



十勝管内の介護事業所380ヶ所をお願いした「介護署名」が続々と集まっています。9月初旬から約1か月間で79事業所402筆に到達しています。

【ヘルパー事業所からの悲鳴】  
 ヘルパー事業所Aの管理者さんは、署名の訴えを職員やご家族にも広げて、38筆も集めてくださいました。「登録派遣型のヘルパーさんにも声をかけています。まだ間に合いますか?」と積極的に取り組んでくださっています。

他にも、多くのヘルパー事業所からご協力を頂きました。同時に「人手不足と職員の高

齢化が進んでいる」「募集をかけても全く応募がない」「引退した高齢のヘルパーに声をかけて働いてもらっている」「この状況で介護報酬を減らされた。腹が立つし、モチベーションが下がる」等の切実な声が寄せられています。

【在宅復帰を阻まれている Eさん夫婦】  
 職場のケアマネからも「土日、夜間のヘルパーはほぼ確保困難」「独居、認知症、重度者のプランが立てられない」などの声が上がっています。

80代男性、要介護5のEさんは、難病の病状悪化のため入院となり、食事、排せつ、更

しく3回のヘルパー支援が必要ですが、まだ半分程度しか確保できていません。

【福祉用具のレンタルの改定】  
 福祉用具事業所Aの相談員さんは署名用紙を増刷して職場に呼びかけ、21筆も集めてくださいました。今回の改定では一部の福祉用具に「購入かレンタルか」の選択制が導入されました。レンタルでは利用者さんの状況をふまえて福祉用具を選び、その後は利用者さんの変化に応じて、品目を変更することができていたのですが、今後は難しくなる可能性があります。相談員さんは「このまま購入に誘導さ

衣、入浴などすべてにわたって介護が必要な状態となりました。施設も勧められましたが、妻の強い希望で、在宅復帰を選択されました。妻も軽度の認知症があり、要介護1の認定を受けています。Eさん夫婦の願いを叶えるためには、少なくとも毎日2

介護署名の反応から判明した廃業・統合等

	帯広市		幕別町		清水町	
	廃業	統合等	廃業	統合等	廃業	統合等
ヘルパー	3					1
ケアマネ	3			1		1
福祉用具	1					
通所介護	1	1				1
認知症デイ		2				

れたら経営的にも大打撃」と困惑されています。

【ストップ介護崩壊を合言葉に】  
 例年署名をお願いしていた事業所のうち、連絡がとれなくなってしまう事業所もありました。可能な限り消息を確認しましたが、現時点で5法人8事業所の廃止、7事業所の統合等が判明しています。

中には、職員に事前の説明なしに運営法人が変わってしまった、報告を受けたのは社名が変わる前日、という事例もありました。

今後もストップ介護崩壊を合言葉に、同じ地域で利用者さんとご家族を支える仲間として、地域の介護事業所との幅広い連携と、介護保険制度改善の運動に取り組んでいきます。

聴診器

▼武器や戦闘機を見てカッコイイと思う気持ちはわからなくはない。悪い敵をやっつける。そんなアニメや映画で育ってきた人は多い。しかし世界では戦禍の中、武器に苦しめられている人たちが大勢いる。私たちは現実世界で起きている戦争をリアルに感じているだろうか。ウクライナではこの2年半で民間人の死者が3万人超、ガザではこの1年で4万人を超えたと報道があった▼某新聞の記事で「目にあまる自衛隊礼賛番組」という見出しがあり、思わずコレだと気が付いた。本当に最近、自衛隊の特集が多いのだ。タレントが自衛隊の基地に潜入? 戦車に乗り込み嬉しそうに「カッコイイ」と▼これはジャーナリストの加藤久晴氏のインタビュー記事で、曰く「これがだんだんと一般化し戦意高揚番組が当たり前になっていく」と。この番組にどれだけの人が違和感を持てるだろうか。知らず知らずのうちに流されていかなないようにミスリードを見抜く「平和のリテラシー」を持つていたい▼石破総理は日本が第2のウクライナになる可能性がある(これもミスリード)としてアジア版NATOの創設に言及している。これは海外での米国の戦争を支援する集団的自衛権の行使を全面的に可能にするという事だ。安保3文書の改定でタガが外れたか。このような政策はアジア地域の軍拡競争をあり、緊張をさらに激化させる危険な道につながる▼私たちはメディアが政府の広報のようには垂れ流す情報やバラエティー番組にさえも、もつと違和感を持つべきだ。



# 音更東友の会と職員 の合同地域訪問

## 食事会や映画鑑賞のお誘いも

9月18日(水)音更東友の会と職員との合同地域訪問を実施し、世話人の守屋さんご夫婦、真田事務局長、宮田所長が参加しました。30件の訪問で15名の方と対話し、署名17筆が集まりました。

訪問先では、高齢独居、日中独居、老夫婦世帯が多く、「管内に娘がいて時々来てくれるが一人ではほとんど出かけられない」「昼間はずっと一人きりで過ごす」という方が多数いらっしゃいました。世話人さんは食事会や映画鑑賞

賞会のお誘いにも取り組んでいました。地域全体の高齢化が進み、時には、訪問先で世話人さんが救急対応をする、ということもあるとのことでした。職員からは、十勝勤医協が様々な医療費や介護の相談に対応できることをアピールしています。秋の大運動会期間中、音更東友の会と在宅職員の合同訪問は4回を予定しています。今後も毎回ケアマネジャーが参加する予定です。

【在宅白樺 宮田 哲郎】



# 第21回 反核平和自転車リレーを開催

2024年10月13日(日曜日)、第21回反核平和自転車リレーが開催されました。清水町の南西に位置する清水公園から出発し、芽室、帯広、音更柳町を経由し帯広病院までの約50kmを超える道のりをなんとか走破することができました。当日はすばらしい晴天に恵まれ、

普段出不精の私でも清々しい気持ちになれる様なスタートとなりました。

途中休憩のため立ち寄った御影公民館と栄福祉センター、そして柳町医院では友の会の皆様がお越し下さり激励の言葉と差し入れを頂戴致しました。また、お昼前に芽室で開催された学習会では上土幌友の会の山本政俊さんを講師にお招きしご講演をしていただきました。民医連設立の歴史と核兵器と戦争が及ぼす私たちの生活への影響、国の軍備拡大に対する警鐘、様々な事柄を丁寧に教えて頂きました。

その中で私が特に印象に残った話があり、憲法25条に定められている「生存権」に関する事でした。皆様ご存じの「すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」について、講師の

山本様は往年の名作ドラマのワンシーンをとり「生きていく中で幸せだなあ」と嘯みしめる瞬間のある事、これを指して健康で文化的な最低限度の生活ではないか」と仰っていました。自分たちの生活においてももちろん、患者様利用者様にその様に感じて頂きたくこの仕事をしているのだと改めて気づかされました。また、民医連職員としての活動のすべてがここに帰結するのだと強く確信できるものでした。

その後大ボリューム大満足の昼食を終えて、後半戦がはじまりました。私は約8km強の距離をそこから自転車走行する機会があったのですが、ずいぶん大橋の上でこの日最大の向かい風に見舞われ肉体は限界寸前まで追い込まれました。気力のみで柳町医院までたどり着くと前述させて頂いた友の会



の皆様が迎えて下さり、嬉しさが枯れた体に満たされ潤うような気持ちでした。その後柳町医院ではスタンディングアピールも行い、車中から手を振ってこちらに答えて下さる町民の皆様姿にも元気づけられました。

そして無事目的地の帯広病院へ到着したときはほぼ満身創痍でしたが達成感にあふれ、翌日からまた地域の皆様に寄り添えるようがんばりたいと決意をあらたに、体も心も成長できたような、そんな一日になったと思います。

【ケアセンター白樺リハビリ 荻原 来武】

## 医療・介護 の現場から シリーズ 132

居宅介護支援事業所白樺  
本田 奈美絵

### 高齢者の孤立防止を 地域の方々と協力して

Aさん(70代 要介護1)は、数ヶ月前に内縁の夫が亡くなり、認知症をかかえながら独居生活を続けています。きっかけは友人Bさんからの紹介でした。受診や介護サービスに拒否的でしたが、Bさんからの「勤医協の人なら優しく話を聞いてくれるよ」との勧めで、Aさんも徐々に私たちを受け入れてくれるようになりました。

しかし介護保険申請については「どこも悪くない、病院には行かない。何も困っていません」と言われ、何度もお断りされました。その後、訪問や電話連絡を重ねるうちに「お風呂が使えない。足が痛くてね。」など、生活の困りごとをお話してくれるようになりました。しかし、困ったことは全て友人Bさんをお願いする習慣が抜けず、「そろそろヘルパー利用を」とすすめても、「まだ、大丈夫です」とお断りされてしまいます。友人Bさんの負担も心配される状況となってきたため、Bさんにも協力頂いて、勤医協帯広病院を受診。要介護1の認定が決定しました。現在は、Aさんの反応をみながら、デイサービスの話題を提供するなど、一歩ずつ進めています。

今回、地域からの相談がなければ、Aさんは、介護保険制度につながることもなく、完全に孤立していたのではないかと思います。今後も、地域住民や患者さん、友の会の方々からの、様々な不安や心配事の相談に添えていきたいと思えます。



# 帯広病院の役割

## 健康診断はお済みですか。

年に1回は

健康診断を受けましょう



診療時間内に受診券をもってお越しください。

\*各社会保険の40才以上の扶養家族の方  
\*各保険組合が発行する受診券をお持ちの方

### 第2・3木曜日の午後は

予約制で健診のみ受け付けています!

休診時間を利用して、第2・4木曜日の午後の時間に健康診断のみを

予約制で受け付けています。待ち時間も少なくスムーズにお受けいただけます。予約はお電話で受け付けています。

### シリーズ⑧



なお、ワクチンのみで来院される場合は午後診療の時間帯が比較的時間が短く接種できます。

### ② 新型コロナウイルスワクチン

新型コロナウイルス感染症の発症を予防することや、発症後の重症化を予防する効果があるとされています。また、過去に感染したことのある方でも再感染する可能性はあり、予防接種によって追加の発症予防効果が得られることも確認されています。

## インフルエンザ・新型コロナウイルス ワイルスワクチン実施中です。

十勝勤医協帯広病院では、インフルエンザワクチンと新型コロナウイルスワクチンを実施中です。

### ① インフルエンザワクチン

インフルエンザの感染経路は、インフルエンザウイルスの飛沫感染(感染者のくしゃみや会話時に受ける唾などのしぶきを吸う)、

接触感染(感染者が触ったものに触れるなど)により感染します。

主な症状は、発熱(通常38℃以上の高熱)、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが突然あらわれ、

これに続いて咳や鼻水があらわれます。「かぜ」に比べて全身症状が強くあらわれます。重症になると肺炎や肺炎が起ることがあります。

接種期間・2025年1月31日(金)まで  
対象者と金額

帯広市民・音更町民の方で65歳以上又は60歳以上65歳未満の者であつて、心臓、腎臓又は呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有する者及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する方

自己負担 1, 100円(生活保護受給者は自己負担なし)

帯広市民・音更町民の中学3年生・高校3年生 1, 500円

自治体助成に該当しない18歳以上の方・3, 000円  
※予約なしで受けられます。受付窓口でお申し付けください。

接種期間・2025年3月31日(金)まで  
対象者と金額

帯広市民・音更町民の方で65歳以上又は60歳以上65歳未満の者であつて、心臓、腎臓又は呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有する者及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する方

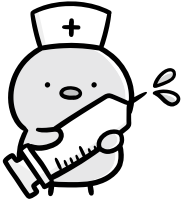
自己負担 3, 300円(生活保護受給者は自己負担なし)

自治体助成に該当しない18歳以上の方・15, 300円  
※新型コロナウイルスワクチンは予約制です。お電話または来院時にお問い合わせください。

お問い合わせ・ご予約は、  
十勝勤医協帯広病院  
☎0155-21-4111まで

### 特定健診・後期高齢者健診

	帯広市	音更町	幕別町	本別町	各保険組合
帯広病院	○	○	○	○	○
白樺医院	○	○	○	-	○



十勝勤医協では管内5つの自治体の健診が受けられます。また十勝勤医協では心電図検査を標準項目で実施しています。さらに友の会の方には胸部レントゲン検査を追加しています。帯広市・音更町・幕別町・芽室町・本別町に在住で対象となる方は、是非ご利用ください。

帯広市・音更町・幕別町・芽室町・本別町の特定健診を受けることができます

十勝勤医協では、友の会員のみなさんが健康に過ごしていただけるよう、病気の早期発見・早期治療を目的として年に1回の健康診断をおすすめしています。今年度まだであれば、ご自身の健康チェックのため、帯広病院で健康診断を受けましょう。

特定健診は受付時間内であれば、予約の必要はありません。保険証と各自自治体・保険組合から届く受診券をお持ちください。

### 特定健診・後期高齢者健診対象者

\*帯広市・音更町・幕別町・芽室町・本別町にお住まいの40才以上の国民健康保険・後期高齢者医療保険加入者の方



【デイサービスすずらん 村上あゆみ】

## 「敬老会を行いました!!」



9月16日(月曜日)は敬老の日。国民の祝日で、「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う日」です。デイサービスすずらんでも9月16日の敬老の日に敬老会を行いました。今回はその取り組みをご紹介します。

2か月程前に職員から「ずっと行事できてないし、今年は敬老会やりたいよね」と声が上がりました。他の職員からも「コロナ禍ですつと調理レクできてないよね」「親の知人にリハビリの為にメッセージカードを作っている方がいる」「みんな歌うのは好きだよ」と職員から色々なアイデアが出され話し合いを重ねてきました。利用者さん全員分の敬老カードを、頂いたメッセージカードを生かし職員が作成。敬老会当日のおやつには、職員特製のホットケーキとジュースを提供させて頂きました。また利用者さんと一緒に音楽に合わせて長生き音頭を踊り、昔懐かしの歌もみなさんと一緒に歌いました。参加した利用者さんからは「こんな企画何年ぶりかですつとも楽しかったよ」「カード玄関に飾らしてもらってよかったよ」と喜びの声や笑顔を目の当たりにし、コロナ禍で様々なことを中止せざるを得なくなり、感染対策を講じながらの行事の再開は私たち職員にとって自信ややりがいを感じる瞬間となりました。今後も、喜んでいただけるような企画を職員一同で行っていきたく思います。

